

令和4年3月議会定例会 町長あいさつ（3月4日）

皆さん、おはようございます。本年、第1回目となります3月定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご多用の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

本定例会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

先週24日は、ロシア軍のウクライナ侵攻という世界に衝撃的な報道が流れ、不安視されていた事態が現実のものとなってしまいました。国際秩序の根幹を揺るがし、強く憤りを覚えるものでありますが、これ以上多くの犠牲者が出ることを無きよう早期の終戦を願うものであります。

さて、コロナ禍となりこれで丸2年が過ぎ、毎年この3月議会で、コロナ感染症を話題とせざるを得ない状況が、残念ながらこれで3回目となりました。昨年12月には感染者ゼロが続くなど落ち着きをみせ、各種制限の緩和など少々明るい兆しが見えかけたのもつかの間、本年に入り急激かつ爆発的に感染が拡大し、本町においても本年だけで、すでに100名を超える方が感染されている状況であります。

ご承知のとおり、現在は、岐阜県のまん延防止等重点措置区域の指定期間が延長され3月6日までの期限となっておりましたが昨日、今月21日まで再延長する方針が表明されました。

緩やかではありますが、好転の兆しが見られることから、酒類の提供停止の他、部活動の中止や公共施設の利用制限などの規制が見直されたものの、飲食の時短、人数制限等各種制限が継続することとなり、該当事業者の方をはじめ町民の皆様には、度重なるお願いとなりますが、感染防止対策の徹底についてご理解ご協力をお願いするものでございます。

現在、本町では3回目となるワクチンの追加接種について順次進めておりますが、町民の皆様には、積極的な接種をお願いするとともに、ご自身はもとより社会全体を守るために、基本的な感染防止対策の徹底を継続していただくなど、感染拡大防止に対するご協力を重ねてお願いするものであります。

さて、本町の事業でございますが、令和3年度はコロナ感染症の影響による減収を見込んだ中、抑制した予算としたため特に大きな新規事業は無かったものの、来年度以降着手を予定している事業に対する調査や設計業務等を実施した他、子育て支援のワンストップ

サービスの充実にかかる「こども課」事務室改修工事や重点主要道路3事業を始めとする各種事業も順調に進捗しているところであります。

また、「道の駅官民連携手法調査」については、先月末に検討結果がまとまり、実現可能性が見込めると結論付けたところであります。今後の事業展開に向けては関連予算が伴うこととなり、今後も議員各位のご理解、ご協議をいただきながら予算計上してまいりたいと考えておりますが、実現可能性有りと言えども、あくまで可能性であって成功が保証されている訳ではありません。実現可能性の担保やコストパフォーマンス、ポストコロナに於ける町の各種事業の優先度等を考慮しながら、関係者はもちろんのこと、町全体で盛り上げてゆく気運の醸成にも力を入れ、時間をかけて取り組んでゆきたいと考えますので、よろしくお願いを申し上げます。

コロナ感染症対応にかかる事業では、国策の子育て世帯臨時特別給付金事業は、これまでの対象者にはおおむね給付を完了し、現在、住民税非課税世帯への給付金の申請を受け付け、順次給付をしているところであります。

町独自の支援策のうち、とみか元気振興券（その3）事業は、約

98%の使用率となり、併せて実施した町内在住医療従事者等応援事業では、234名の方々にご活用いただいております。

ワクチン接種対策では、これまでに総額約7,000万円の補正予算をお願いし、県平均を上回る接種率にて実施できているところがあります。現在は3回目接種を順次進めるとともに5才から11才を対象とした小児接種の受付も開始し、新年度予算にも約2,000万円を計上しておりますが、来年度に向け希望する全ての方に接種できるよう進めてまいります。

現在、11才未満の接種については予約率が低く心配しているところですが、十分理解を得た上での接種をお願いするものであります。

では、令和4年度にあたり、予算編成を含め所信の一端を申し上げさせていただきます。

私は、現在3期目のちょうど中間点を迎えようとしており、これまでもお約束してきたとおりであります。JUSTomika Life「みんなで創る誰もが住みよい ちょうどいいまち とみか」の実現のため、第5次総合計画の6つの目標を基本とし、人口増加対策、子どもを安心して産み育てられる富加町とすることを念頭に行政を運営してまいりました。

昨年9月に報告を受けました平成27年度から令和2年度までの総合戦略検証では、雇用面では新企業誘致の影響もあり町内事業所への就業者は増加しており、また社会動態では各種定住施策により6年間で98名の転入超過となり、これに伴い年少人口も増加し続けている等の結果となったところであります。

こうした取り組みもあり、令和2年国勢調査では、人口が前回より63人増加となり、県内約9割の市町村で減少した中、前回調査に続き、増加した5市町のひとつとなりました。こうした結果からも、これまでの施策の方向性は変えることなく、今後も総合計画後期基本計画を基本とした上で、各種施策について広く皆さまのご意見を伺いながら事業を進め、未来の富加町へ確実につなげて行けるものとしたいと考えております。

新年度予算編成にあたっては、町税収等において、前年度決算及び本年度の収納状況を見ますと、包括的には大きなコロナ禍の影響はみられなかったことから、前年度を上回る積極型とし、継続重点事業の計画的な進捗、保留としていた事業の実施及び子育て支援を始めとする住民サービスの向上を念頭に、先に述べました基本計画の6つの基本目標の更なる推進を図ることを目指し取り組みまし

た。

一般会計の予算総額は31億2,600万円とし、前年度を1億4,400万円上回る、本町としては大型の予算規模といたしました。

昨年度当初予算と対比いたしますと、下水道事業会計への繰出金の減、川浦川左岸線の用地取得、補償費及び木曾川右岸用水事業の完了等により約1億円の減額となったものの、ジャストタウン加治田造成事業、マイナンバー活用コンビニ諸証明等交付事業及びタウンホール吊物改修事業等多くの新規事業の着手の他、ふるさと納税額の増、新型コロナワクチン接種事業費の当初計上などにより増額となり、加えて、企業振興奨励金の継続、重点インフラ道路3路線事業の更なる推進は、欠かすことはできない事業であることから、このような予算規模となったものであります。

さて、今議会に提案いたします案件でございますが、人事案件として、教育長の任命同意が1件、専決処分の承認が2件、町条例の一部改正が13件、令和3年度一般会計及び特別会計の補正予算が4件、下水道事業会計の補正予算が1件、そして令和4年度当初予算案が6件の計27件となっております。

人事案件では、粥川友和教育長が任期を半年残し、3月末日をもって勇退することとなり、新たに教育関係の経験、知識とも豊富で適任と考えます坂井伸生^{しんせい}さんの任命について同意を求めるものでございます。

専決処分の承認案件については、令和3年12月20日及び27日において、国のコロナ対策支援としての子育て世帯及び住民税非課税世帯への臨時特別給付金に関する費用について、一般会計補正予算として、あわせて1億3,131万6千円の増額を専決いたしましたので、その承認を求めるものでございます。

条例の一部改正については、

富加町個人情報保護条例では、関係する法律の改廃に伴い引用する条項の表記等について改正をするもの。

富加町職員定数条例では、「こども課」設置に伴い各部局の職員定数について改正をするもの。

富加町職員の育児休業等に関する条例では、非常勤職員の育児休業及び介護休暇等の取得要件の緩和について改正をするもの。

富加町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例では、学校運営協議会の設置に伴い協議会委員の報酬額を定めるため改正をするもの。

富加町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例、富加町常勤の特別職職員の給与に関する条例及び富加町職員の給与に関する条例の3条例では、国家公務員の期末手当を引き下げる給与法改正に伴い、国に準じて改正をするもの。

富加町手数料徴収条例では、鳥獣保護に関する法律による鳥獣飼養関係事務が県より権限移譲されたことに伴いその登録手数料を定めるため改正をするもの。

富加町法定外公共物の管理に関する条例及び富加町道路占用料等徴収条例では、岐阜県条例等の改正に伴いそれぞれ所要の改正をするもの。

富加町消防団の設置等に関する条例では、名称及び区域等の見直しに伴い表記等を改正するもの。

富加町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例では、消防団員の処遇改善通知に基づき、報酬引き上げにかかる改正をするもの。

富加町消防団員等公務災害補償条例では、関係法令において損害補償の基準が改正されたことに伴い、所要の改正をするものでございます。

次に、令和3年度一般会計補正予算（第12号）については、決算を見据えた中で、1億3,268万6千円の増額をお願いしております。

主なものは、歳入では、地方税減収補填特別交付金及び地方交付税の確定による増額その他、繰越金として前年度実質収支額の未計上分を増額し、基金繰入金等充当財源を減額としております。

歳出では、人件費及びコロナ対策を含む事務事業の清算による不用額等の減額が主であります。なお、これらに起因し余剰となる額2億6,600万円については財政調整基金として積み増しをお願いするものでございます。

繰越明許費については、住民基本台帳システム改修では、マイナンバーカード利用により転入手続きを簡略化するものであり、財源である国庫補助金が本年度において措置されたことから今般の補正予算に計上したうえで翌年度に繰り越すため、住民税非課税世帯及び子育て世帯への臨時特別給付金では、翌年度においても給付事務が必要であるため、いずれも翌年度に渡り業務期間を設定したく、事業費繰越の議決をお願いするものであります。

その他に、国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の特別会計のほか、下水道事業会計の補正予算もお願いしております。

いずれも決算を見据えた補正となりますので、よろしくお願いいたします。

次に、令和4年度予算についてでございます。

一般会計については、先に述べましたとおり、総額31億2,600万円とし、前年度比4.8%の増額といたしました。

歳入では、町税については前年比5.3%増の8億1,400万円ほどを見込んでおります。

これは、町民税では、コロナウイルス感染症による減収の影響が少なかったことから、個人分は例年並みとし、法人分においては増益が見込めることから 1,400 万円（前年比 32.1%）の増額とし、固定資産税では、昨年度のみ措置されたコロナ経済対策による減免がないことから、例年並みとなり 1,700 万円（前年比 3.9%）の増額としたことによるものであります。

地方交付税は、地方財政計画等に基づき積算しますが、国より示された伸び率等により 8,500 万円の増額（前年比 8.6%）とし、10 億 7,400 万円を見込んでおります。

国庫支出金は、保健衛生費負担金（ワクチン接種対策負担金）及び小学校費補助金（施設環境改善交付金）の皆増等により、全体で 2,800 万円ほどの増（前年比 12.0%）の 2 億 6,400 万円ほどを見込んでおります。

寄附金では、ふるさと納税返礼事業について、前年実績等により 3,000 万円の増（前年比 60.0%）の 8,000 万円といたしました。

町債は、臨時財政対策債発行可能額の大幅な減額見込等に伴い

6,600 万円ほどの減額（前年比▲51.5%）の 6,200 万円ほどとなりました。

なお、基金繰入金については、歳出に対する不足財源に対し、財政調整基金 1 億 500 万円その他、設置目的に沿った事業に対し、まち・ひと・しごと創生基金 4,300 万円及びふるさと納税基金 7,500 万円の計 2 億 2,300 万円をそれぞれ充当しております。

次に、主な歳出についてでございます。

富加町第 5 次総合計画の基本目標に沿って、主な新規事業を申し上げます。

①「健康に暮らせるまちづくり」では、

子育てしやすいまちづくりの更なる充実のため、こども課を新設する他、新生児出産記念品を現行一人 3 万円分の商品券から、第 1 子 10 万円、第 2 子 20 万円、第 3 子以上 30 万円の現金での祝金とし 790 万円を、こども食堂など子供の居場所づくり支援のための補助金として 90 万円を、老朽化した子育て支援センター屋外ブランコを更新するため 110 万円を計上しました。また、健康づくり等の推進のため、高齢者の移動支援では、事業主体を町とし

利便性を高めた上で車両の購入と社会福祉協議会への業務委託費として600万円を、3歳児での視力異常の正確な検診のため屈折検査機器を導入することとし120万円を、30代からの健康保持増進のため早期検診を実施し、あわせて特定検診受診率の向上を図るためヤング検診事業として20万円を計上しました。また、各種健診の受診率向上に向け集団検診等の自己負担を無料化することといたしました。

②「魅力的な生活空間のあるまちづくり」では、

住環境や定住の整備促進のため、ジャストタウン加治田造成事業費として1,650万円を、商工会防犯灯LED化管理移管補助金として50万円を、定住促進新築住宅建設奨励金の制度設計を単年度一括交付に見直し町内業者施工を50万円、町外業者施工を30万円として1,200万円を、特定用途制限地域は指定から17年の経過もあり見直すこととし、業務委託料として2か年の債務負担行為にて総額5,200万円を、ゆうあい環境公園等児童公園の維持管理のうち高木伐採業務として60万円を計上しました。

また、継続事業となりますが、重点インフラ事業であります川浦川左岸線に5,050万円、稻荷北野線に4,810万円、西組木船線に1,000万円を計上しております。

③「快適で安心安全なまちづくり」では、

消防車両運転にかかる準中型自動車運転免許の取得を促進するため団員に対し取得費用の一部を10万円を限度とし助成することとし30万円を、電波法改正により使用不可となる携帯防災行政無線機を更新するため1,430万円を、災害避難指示等に伴う避難所物資等の費用に対する保険に加入することとし60万円を、災害緊急メールを楽天にも委託することとし委託料として20万円を計上したほか、本年度発生したセアカゴケグモ駆除委託料として20万円を計上しております。

④「豊かな心と文化を育むまちづくり」では、

タウンホールでは、経年劣化した大ホール吊物等の更新工事として2,570万円に加え、2階トイレの利便性向上のため改修工事として1,120万円を、歴史文化の発信にかかる閨田古墳の探査業務に360万円を、加治田城を舞台とした「夕雲の城」マンガの続編の製作費として300万円を、小学校環境等整備では、GIGAスクール事業にも対応した壁掛け式多機能プロジェクターを各教室に設置することとし900万円を、北生徒玄関付近トイレ改修工事として2,570万円を、また、新たに実施する地域学校協働活動事業

費用として 250 万円を計上しております。

⑤「魅力と活力あるまちづくり」では、

農業振興にかかる農地の有効利用と保全等のため、農業振興地域整備計画を見直すこととし、業務委託料として2か年の債務負担行為にて総額 890 万円を、昨年に続き新規就農者のいちご栽培施設整備に対する、元気な農業産地構造改革支援事業補助金として 2,500 万円を、山下池廃止に伴う下流排水路詳細実施設計業務とし 500 万円を、高畑地区県単農道整備工事費として 350 万円を計上しました。

また、継続します企業振興奨励金として、3社に対し 2,570 万円を計上しております。

⑥「協働で進める自立したまちづくり」では、

行政サービスの向上では、マイナンバーを活用した住民、税諸証明等のコンビニ交付導入事業費として 2,400 万円を、地方税統一 QR コード活用事業にかかるシステム開発料等として 620 万円を、戸籍法の改正にかかる改修委託料として 680 万円を、行財政では、自治体業務のデジタル化による標準化、共通化等々の自治体 DX（デジタルトランスフォーメーション）事業着手にかかる費用

として 170 万円を、公務員定年延長にかかる制度設計支援業務費として 110 万円を、デジタル改革に伴う個人情報保護制度設計支援業務費として 170 万円を、また、役場宿直業務の外部委託に向け、用務員室の改修工事費として 200 万円を計上しました。その他には、コロナ感染症支援施策の財源である地方創生臨時交付金の検証アンケートを実施することとし、その費用として 50 万円を計上しております。

以上が、一般会計予算での主な新規事業でございます。

この一般会計と、3つの特別会計との予算総額は、44 億 3,500 万円ほどで対前年度比 3.9%の増額となり、更に水道事業会計及び下水道事業会計を含めた予算総額については、49 億 3,700 万円ほどとなり、例年と比べ約 1 億 7,000 万円増の大型予算といたしました。

以上、本議会に提案いたします議案の概要についてご説明させていただきましたが、詳細については、それぞれの担当課長から説明をさせていただきますので、慎重審議をいただき、ご決定いただきますようお願い申し上げます。今定例会にあたりましてのあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひ致します。